



道路情報や観光情報を求める通行者に利用されている



地場製品の販売も行われる



木材を多用して暖かみを演出した食事施設

DATA・BOARD 27

- ①高知県幡多郡大正町田野々17-1
- ②面積：34,000㎡、延床面積：218㎡
- ③JR予土線土佐大正駅から車で約5分、高知自動車道伊野ICから車で約2時間
- ④キララ大正、熊野神社、リバーパーク轟ほか
- ⑤ふるさと朝市(5月の連休と盆休みに開催)



27 道の駅「四万十大正」



道の駅「四万十大正」は、国道三八一・四三九号線が合流する四万十川沿いに位置しており、このほど、再整備事業が行われた。再整備にあたっては、ワークショップ方式により、地域住民や団体、行政機関が意見交換を行い、施設の構成や運営内容などが話し合われ、地域産業や観光の活性化を図るための交流拠点をめざしている。

施設としては、来訪者に高知県や大正町の魅力を紹介するために情報館が設けられている。ここでは誰でも簡単に操作することのできるパソコンにより、道路や観光地、駐車場案内などをはじめ、県内市町村の紹介や特産品、気象状況などの情報提供を行っている。また、通行者がドライブの途中で休憩のひとときを得ることができるよう、囲炉裏様式の休憩コーナーを設けている。であいの里と名付けられた物産品販売所は、木材を使用した暖かみのある雰囲気づくられており、町内で生産された特産品の販売を行っているほか、地場産品を味わうことのできる食事施設が設けられている。

四万十川に面したテラスからは、川辺に降りることもでき、通行者がドライブの途中で休息のひとときを楽しんだり、郷土色豊かな食事や買い物を楽しむことができる施設として親しまれ、大正町の情報発信地として活用されている。